

当院にて紫斑病性腎症（IgA 血管炎）でご加療中の方へ

当院では「成人紫斑病性腎症の予後に関する観察研究（多施設共同研究）」を実施しております。この研究は、未だに実態がよく分かっていない紫斑病性腎症（IgA 血管炎）について、患者さんが受けた初期治療の内容や腎機能障害の進行に影響する要因を検討するために、全国の施設で共同実施している調査・研究です。

【対象となる方】

2007 年 7 月より 2012 年 12 月末までに本院で紫斑病性腎症と診断された方

【研究の目的・意義】

紫斑病性腎症患者において、初期治療の内容や腎機能障害の進行に影響する要因を詳しく調査することで、紫斑病性腎症の悪化要因の解明や将来的な初期治療方法の標準化の確立に役立てることを目的としています。

【研究の方法】

この研究は、厚生労働省が示した「臨床研究に関する倫理指針」を守り、倫理委員会の承認のうえ実施されます。これまでの診療でカルテに記録されている血液検査や尿検査結果などのデータを収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は、外来主治医にお伝えいただくか、下記の研究事務局へ平成 29 年 2 月 28 日までに御連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合は、ご了承いただいたものとさせていただきます。

収集されたデータは、個人が特定できない形式で厳重に管理され、研究終了後 5 年間保存されます。研究で得られた成果は学会等で発表されることがあります。

なお、研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示致します。下記までご連絡ください。

ご不明な点がありましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

平成 28 年 8 月

【研究医療機関名・連絡先】

住 所：920-0293 河北郡内灘町大学 1－1

電 話：076-286-2211内線3403（FAX：076-286-2786）

医療機関名：金沢医科大学

診療科名：腎臓内科

実施責任者：横山 仁

分担研究者：藤本圭司